令和５年度　　**書道Ⅱ**　　１１　新潟翠江高等学校（通信制）

履修区分	単位数	添削回数	最低出席時数	試験回数
選択必履修	2	6	8	0

教　科　書	学習書・副教材等
書道Ⅱ　（東京書籍）	学習書：書道Ⅰ（ＮＨＫ出版）

学　習　目　標

・書道を通して、生涯にわたり書を愛する心情を育てる。
・表現と鑑賞の基礎能力を伸ばし、感性を高めるとともに、書の伝統と文化についての理解を深める。

学　習　内　容

（１）篆書の古典『石鼓文』の臨書と篆刻・・・・（第１回レポート）
（２）隷書の古典『礼器碑』の臨書・・・・・・・（第２回レポート）
（３）草書の古典『書譜』の臨書・・・・・・・・（第３回レポート）
（４）仮名の単体・・・・・・・・・・・・・・・（第４回レポート）
（５）仮名の連綿・・・・・・・・・・・・・・・（第５回レポート）
（６）仮名古筆の臨書と創作・・・・・・・・・・（第６回レポート）

学　習　方　法

【スクーリング】

可能な限り１０月の第９回スクーリングに出席することが望ましい

かならずレポート・教科書・学習書を持参してください。
課題の確認・解説・指導を行います。各レポート締切日の前に2回のスクーリングがあります。
1回目は解説に重点を置き、その後、実技指導をします。
2回目はおさらい後、実技指導を重点的に行います。
スクーリングに毎回出席することで、レポート課題がおおむね完成するようになっています。

【レポート作成】

①筆記課題…問題文をよく読み空欄が無いようにすべてに解答・記入してください。
②実技課題…課題ごとに異なる表現技法を理解し、出来るようになるまで繰り返し練習しましょう。

評　価　の　規　準　と　評　価　方　法

以下の観点を踏まえ、レポートを評価します。空欄があった場合や課題が不足している場合は不合格となります。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めている。 伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するための技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現および鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

担　当　者　よ　り　一　言

書道Ⅱは書道Ⅰの学習をふまえ、より豊かな表現をするための学習をしていきます。積極的にスクーリングに出席して、レポートを順番に学習していくことでスムーズに学習することができます。現存している最古の漢字書体である篆書や、波磔の美しい隷書などの書体にも新たに触れてみましょう。
後期は、仮名の書に取り組みます。仮名用の小筆と半紙が必要になるので、早めに用意しましょう。